

～ 大きな脳血流変動を伴うマッサージ手技を開発 ～

ノエビアグループは、前頭前野の酸素化ヘモグロビン濃度の変化による客観的評価法をもとに、マッサージ手技の違いや組み合わせにより脳血流動態が異なることを見出し、大きく脳血流を変動させるマッサージ手技を明らかにしました。この成果をもとに、基礎化粧品を用いたセルフマッサージ法を推奨していく予定です。

第17回日本光脳機能イメージング学会(東京)にて発表

ノエビアグループは、これまでフェイシャルマッサージやスキンケアにより認知や判断、情動をつかさどる前頭前野の脳血流が変化し、加齢により脳血流変動が減弱することを示してきました。今回の研究では、マッサージ手技の違いや組み合わせにより前頭前野の脳血流動態が異なることを見出し、大きく脳血流を変動させるマッサージ手技を明らかにしました。このことは、脳の血行動態を大きく変化させる特定のマッサージが加齢による脳血流変動の減弱を予防する可能性を示唆しています。この研究成果を、2014年7月26日に東京で行われる「第17回日本光脳機能イメージング学会」にて発表いたします。尚、今回の成果をもとに、基礎化粧品を用いたセルフマッサージ法を推奨していく予定です。

【研究の背景】

加齢に伴う脳機能の低下がQOL (Quality of life; 生活の質)に影響することから、これを予防改善する方法が求められており、脳活動を高める認知課題の有用性が報告されています。これまで、ノエビアでは心地よいスキンケアやフェイシャルマッサージが脳血流を変動させ、脳活動に影響を与えることを示してきました。フェイシャルマッサージは様々な手技で構成されていますが、手技の違いや組み合わせがどのように脳血流に影響するのかについては明らかにされていませんでした。そこで、今回の研究では、手技の違いや組み合わせによる脳血流変動への影響を検討しました。

【研究の成果】

- 1) 以下、頬に対して5つのマッサージを実施した結果、マッサージ手技の違いにより脳血流動態が異なることを明らかにしました。

| マッサージ方法 | 脳血流の変化 |
|-------------------------------|--------|
| やさしくさするマッサージ | 低下 |
| 筋肉※1をのぼすマッサージ | 上昇 |
| 経穴(ツボ)※2をおすマッサージ | わずかに変化 |
| 一定のリズムでたたくマッサージ | 低下 |
| リズムカル(ゆっくり→はやく→ゆっくり)につまむマッサージ | 上下に変動 |

※1: 筋肉=咬筋(こうきん)

※2: 経穴(ツボ)=四白(しはく)、巨膠(こりょう)、迎香(げいこう)。顔にあるツボの一種。

- 2) 以下、頬に対して 4 つのマッサージを実施した結果、フェイシャルマッサージ手技の組み合わせは脳血流変動に影響し、「筋肉をのばすマッサージの後にやさしくさするマッサージ(④)」が、脳血流を大きく変動させる手技であることを明らかにしました。

| | マッサージ方法 | 脳血流の変化の度合い |
|---|-----------------------------|------------|
| ① | やさしくさするマッサージ (単独) | + |
| ② | 筋肉をのばすマッサージ (単独) | ++ |
| ③ | やさしくさするマッサージの後に、筋肉をのばすマッサージ | ++ |
| ④ | 筋肉をのばすマッサージの後に、やさしくさするマッサージ | +++ |

※脳血流変化の度合い: 脳血流変動幅 (mM・mm) をもとに比較。(+++ > ++ > +)

＜このリリースに関するお問い合わせ＞

株式会社ノエビア 東京都中央区銀座 7-6-15 広報・宣伝部 後藤・森山
TEL 03-5568-0349 FAX 03-5568-0441